

## ペド僧が子供への性犯罪を誘ったのは“悪魔”だと主張

### 子ども性犯罪への調査の間、聖職者が自宅軟禁に

【訳者注】これを取り上げたのは、この問題のペド僧の、報告されている言動の描写のためである。彼が「悪魔の罠に引っかかった」と言ったのは、狡猾な弁解とも取れるが、これはそうではなく、彼が感じた通りを正直に言ったと思われる。また、インタビュー記者が、自分の犯罪にもかかわらず、彼は「全く動揺していないように見えた」と言い、「私はイエスとマリアに自分を委ねている」と語ったことも、「悪魔の罠」を本当のもののよう思わせる。これはペド僧たちにほぼ共通する。「女性が誘ってきた、子供が誘ってきた（それを知らないで一方的に責めないでくれ）」と、彼らがよく言うのはウソではないだろう。これはやはり「悪魔の罠」ではないだろうか？ だからと言って彼らの罪が消えると言っているのではない。

ただ、「文化」と言われるほどに、ペドフィリアが広く蔓延することの背景には、そういう霊的現象を認めなければならないということである。これを「迷信」だとして馬鹿にするのは、今のこの世界に賢明に対処することではない。私はこの世界の構造を知っており、これを転倒させて世界を乗っ取ろうとする勢力があることを知っているから、この罠には引っかからない。しかし、もしかりに、それに全く無知蒙昧だったとしたら、この罠を退ける自信は、私には全くない

Riva Mendoza, [www.neonnettle.com](http://www.neonnettle.com)

August 10, 2018



車の中で 11 歳の少女を強姦したとして告訴されたペドファイル僧が、「この子供はもっと年上」だと思ったと言い、「悪魔が自分を強制してこの罪を犯させたのだ」と主張した。

Paolo Glaentzer 神父、70 歳は、先月、11 歳の少女を車の中で性的に暴行したとして逮捕されたとき、「悪魔が彼を罠にかけたのだ」と言った。

子ども性犯罪で告訴されたにもかかわらず、グレンツァーは、裁判所によって拘束されることもなく、調査が行われている間、自宅軟禁下におかれている。

あるイタリアの新聞に質問されたとき、この恥ずべき聖職者は、起きたことについては、この少女に「非常に申し訳ないと思っている」。しかし、それはサタンが悪いのだと言い、「悪魔が私に罠をかけたのだ」と主張した。



暴行について訊ねられると、グレンツァーは、彼が少女たちと出会っていたのは、「愛情を交換する」ためであったが、それがコントロールを失ったと言い、彼の犠牲者は「実際よりもはるかに成熟している」ように見えた、とつけ加えた。

「聞けば 11 歳だということだ。・・・私は、少なくとも 15 歳だと思った」と彼は記者に話した。

グレンツァーの犠牲者が実際に 15 だったとしても、イタリアの合意年齢は 16 だから、それは法に触れたであろう。

ジャーナリストがこの聖職者をインタビューしているとき、この人物は、進行中の犯罪事件

に全く動揺していないように見え、彼は自分を「イエスとマリアに」委ねている、と語ったという。



つい先月、Neon Nettle が報告したように、ワシントン DC の前大司教、Theodore McCarrick が、子ども性暴行の非難を浴びて辞任した、と報道されている。

<http://www.neonnettle.com/news/4645-former-archbishop-of-washington-dc-resigns-over-pedophilia-allegations>

法王フランシスは、金曜日、この高位のカトリック教会責任者の辞任を受諾した。マクキャリック、88 歳は、子ども性暴行の訴えがバチカンを悩まし続ける一方で、増大する教会内部のペドフィリア・スキャンダルの、真っ只中にいた。

6 月には、マクキャリックは、彼がニューヨークの小教区担当だったときに、子供を性的に暴行したという信憑性ある訴えがあった後、教会によって職責を一時取り上げられていた。

——以上